



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日
東

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 2812 URL http://www.y SKF.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 和広
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 大勝 利昭 (TEL) 054-202-6044
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,642	△2.0	1,004	12.3	1,070	14.2	559	21.6
23年3月期第3四半期	15,959	—	894	△42.0	937	△42.6	460	△53.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 591百万円(70.6%) 23年3月期第3四半期 346百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	39.82	—
23年3月期第3四半期	32.75	—

(注) 23年3月期第3四半期の売上高対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,664	17,628	81.4
23年3月期	20,801	17,345	83.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 17,628百万円 23年3月期 17,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年3月期	—	10.00	—		
24年3月期(予想)				12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,045	△5.7	1,270	18.0	1,345	18.7	740	233.0	52.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	14,056,198株	23年3月期	14,056,198株
24年3月期3Q	5,529株	23年3月期	5,339株
24年3月期3Q	14,050,759株	23年3月期3Q	14,050,905株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴い回復の兆しはあるものの、円高の持続やユーロ圏の財政問題による海外経済の減速懸念などもあり、先行きに対する不透明感が強まっています。

食品業界におきましても、原材料価格が上昇傾向にあるなか、放射能汚染問題や低価格志向による価格競争の激化など、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループは3ヶ年中期経営計画『チャレンジ & グロース』（挑戦と成長）の中間期として、利益を重視した筋肉質な企業体質の構築を目的に経営施策を遂行してまいりました。

具体的には、新規取引先への営業強化や不採算製品の見直しを行うとともに、生産効率の向上や経費削減を徹底し、採算性の改善など経営基盤の強化に取り組みました。

事業別では、調味料事業は、得意とする水産系調味料のシェアアップに注力するとともに、独自の加工技術を取り入れた差別化製品を展開しました。機能食品事業のうち機能食品は、子会社のUMI ウェルネス(株)が「コラーゲンゼリー」を発売し、基幹商品の育成を図りました。機能性食品素材は、飲料や美容分野など新たなマーケットへの配合提案を積極的に推進しました。海外事業は、円高による価格競争力の低下や放射能問題による日本製食品に対する諸外国の輸入規制などから拡販計画に遅れが生じていますが、国内の海外進出企業への営業を強化しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は156億42百万円(※)（前年同四半期比3億17百万円、2.0%減）となりました。利益面におきましては、製造経費や販売費及び一般管理費の削減を推進し、連結営業利益は10億4百万円（同1億10百万円、12.3%増）、連結経常利益は10億70百万円（同1億33百万円、14.2%増）、連結四半期純利益は5億59百万円（同99百万円、21.6%増）となりました。

(※) 水産物の問屋買付に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価に計上する方法（総額表示）を採用しておりましたが、当期より、売上高から売上原価を控除する方法（純額表示）に変更しました。売上高の会計処理の変更に関しましては4ページ(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。なお、当第3四半期の売上高を従来どおりの方法（総額表示）で算出した場合、21億96百万円増加し、178億38百万円となります。

	純額表示による売上高			総額表示による売上高		
	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	前年同期比	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	前年同期比
連結売上高	15,642百万円	15,959百万円	△317百万円	17,838百万円	17,295百万円	543百万円
うち水産物	2,279百万円	2,154百万円	125百万円	4,476百万円	3,490百万円	985百万円

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(調味料)

調味料事業は、国内消費の伸び悩みから需要は頭打ちの状況の中にあります。当社が得意とする水産系調味料のシェアアップに取り組み、液体調味料、粉体調味料とも上昇傾向にあります。

この結果、調味料事業の売上高は62億18百万円（前年同期比1億67百万円、2.8%増）、セグメント利益(営業利益)は6億56百万円（同49百万円、8.2%増）となりました。

(機能食品)

機能食品事業における機能食品は、前期に引き続き一部取引先向け粉末製品の大幅な受注減があり苦戦を強いられましたが、医療栄養食（レトルト）は震災による特需が加わり伸長しました。N-アセチルグルコサミンやアンセリンを始めとする機能性食品素材は、価格競争が激化する厳しい環境下、飲料や美容分野への配合提案による新規顧客の獲得に取り組みました。

この結果、機能食品事業の売上高は57億2百万円（同6億34百万円、10.0%減）、セグメント利益（営業利益）は7億15百万円（同7百万円、1.0%減）となりました。

(水産物)

水産物事業は、主にカツオ・マグロ加工製品の製造販売です。販売部門は年末需要により売上が伸長し、また効率化や経費の削減に努めましたが、原料高が響き増収減益となりました。

この結果、水産物事業の売上高は22億79百万円（同1億25百万円、5.8%増）、セグメント利益（営業利益）は71百万円（同14百万円、17.1%減）となりました。

(その他)

その他事業は、各種ワサビ類他香辛料の製造販売、その他商品の販売です。香辛料は新たに大手量販店向けに採用されましたが価格競争が激しく利益面には貢献出来ませんでした。

この結果、売上高は14億41百万円（同24百万円、1.7%増）、セグメント利益（営業利益）は65百万円（同3百万円、5.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億62百万円増加し216億64百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が3億63百万円、受取手形及び売掛金が10億66百万円増加したものの、その他流動資産が1億71百万円減少したことなどから11億58百万円増加の125億4百万円となりました。固定資産につきましては、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が2億44百万円減少したことなどから2億95百万円減少の91億59百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5億80百万円増加し、40億36百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が3億26百万円、未払法人税等が2億87百万円増加したことなどから8億20百万円増加の36億11百万円となりました。固定負債につきましては、長期未払金が1億7百万円減少したことなどから2億39百万円減少の4億25百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上により利益剰余金が2億50百万円増加したことなどから、2億82百万円増加の176億28百万円となりました。

この結果、自己資本比率は81.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年11月4日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(売上計上方法の変更)

連結子会社であるマルミフーズ株式会社における水産物の問屋買付に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価ともに計上する方法(総額表示)によっておりましたが、第1四半期連結累計期間より売上高から売上原価を控除する方法(純額表示)に変更しております。

この変更は当該取引の金額的重要性が増したため、営業成績をよりの確に表示するために行ったものです。当該会計方針の変更については、遡及適用を行い、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高、売上原価はそれぞれ13億36百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首に反映されるべき累積的影響額はないため、前連結会計年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

(試験研究費の計上方法の変更)

提出会社である焼津水産化学工業株式会社における商品開発センター・調味料開発部の試験研究費について、従来売上原価に計上する方法によっておりましたが、第1四半期連結累計期間より販売費及び一般管理費に計上する方法に変更しております。

この変更は前連結会計年度中において、顧客ニーズに迅速に対応するために大幅な組織変更を実施し、研究開発本部を商品開発センターにしたことに伴い、より適切な期間損益計算を行うために行ったものです。当該会計方針の変更については、遡及適用を行い、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上原価は1億2百万円減少し、販売費及び一般管理費は1億2百万円増加しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首に反映されるべき累積的影響額はないため、前連結会計年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,347,530	3,711,241
受取手形及び売掛金	4,392,944	5,459,915
有価証券	176,934	160,233
商品及び製品	1,431,819	1,382,330
原材料及び貯蔵品	1,622,194	1,587,743
繰延税金資産	92,631	86,317
その他	292,364	121,101
貸倒引当金	△10,100	△4,100
流動資産合計	11,346,320	12,504,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,678,609	2,564,039
機械装置及び運搬具(純額)	1,456,918	1,333,096
土地	2,394,450	2,394,450
リース資産(純額)	50,106	52,717
建設仮勘定	18,165	15,120
その他(純額)	92,902	86,869
有形固定資産合計	6,691,151	6,446,292
無形固定資産	228,956	201,088
投資その他の資産		
投資有価証券	1,869,626	1,900,998
繰延税金資産	280,178	247,312
その他	419,550	371,844
貸倒引当金	△34,165	△7,772
投資その他の資産合計	2,535,189	2,512,383
固定資産合計	9,455,298	9,159,764
資産合計	20,801,618	21,664,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,883,176	2,209,436
短期借入金	20,495	115,748
1年内返済予定の長期借入金	140,000	140,000
リース債務	13,443	16,110
未払法人税等	58,698	346,261
未払消費税等	27,779	69,954
賞与引当金	153,075	113,534
役員賞与引当金	—	14,994
その他	494,042	585,088
流動負債合計	2,790,710	3,611,128
固定負債		
長期借入金	70,000	—
リース債務	46,711	45,490
繰延税金負債	22,450	18,585
退職給付引当金	376,202	318,869
長期未払金	139,296	31,996
その他	10,465	10,465
固定負債合計	665,126	425,407
負債合計	3,455,836	4,036,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	10,427,917	10,678,389
自己株式	△5,913	△6,058
株主資本合計	17,453,780	17,704,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51,259	△3,088
為替換算調整勘定	△56,738	△73,007
その他の包括利益累計額合計	△107,998	△76,096
純資産合計	17,345,781	17,628,010
負債純資産合計	20,801,618	21,664,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	15,959,233	15,642,180
売上原価	12,210,354	12,016,720
売上総利益	3,748,878	3,625,459
販売費及び一般管理費	2,854,642	2,620,992
営業利益	894,235	1,004,467
営業外収益		
受取利息	3,942	1,801
受取配当金	37,811	37,901
受取賃貸料	12,577	11,574
その他	35,971	51,230
営業外収益合計	90,302	102,507
営業外費用		
支払利息	863	888
匿名組合投資損失	24,337	16,743
為替差損	10,689	3,601
たな卸資産廃棄損	2,977	1,367
その他	8,462	13,633
営業外費用合計	47,329	36,233
経常利益	937,208	1,070,741
特別利益		
固定資産売却益	1,470	296
保険収益	—	28,910
国庫補助金	—	6,666
特別利益合計	1,470	35,873
特別損失		
固定資産売却損	1,894	—
固定資産除却損	20,714	8,201
投資有価証券評価損	62,191	53,876
退職給付制度改定損	85,049	—
災害による損失	—	26,459
固定資産圧縮損	—	6,666
特別損失合計	169,849	95,204
税金等調整前四半期純利益	768,829	1,011,411
法人税等	308,619	451,822
少数株主損益調整前四半期純利益	460,210	559,588
四半期純利益	460,210	559,588

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	460,210	559,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,867	48,171
為替換算調整勘定	△43,543	△16,269
その他の包括利益合計	△113,411	31,902
四半期包括利益	346,799	591,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,799	591,490
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,051,271	6,337,212	2,154,138	14,542,622	1,416,610	15,959,233	—	15,959,233
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12,021	9,195	11,019	32,235	113,460	145,695	(145,695)	—
計	6,063,293	6,346,407	2,165,157	14,574,858	1,530,071	16,104,929	(145,695)	15,959,233
セグメント利益	606,496	723,209	85,676	1,415,382	69,241	1,484,623	(590,387)	894,235

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種ワサビ類他香辛料、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額590,387千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,218,949	5,702,382	2,279,552	14,200,884	1,441,296	15,642,180	—	15,642,180
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	11,265	15,714	12,177	39,157	109,352	148,509	(148,509)	—
計	6,230,215	5,718,096	2,291,729	14,240,041	1,550,648	15,790,690	(148,509)	15,642,180
セグメント利益	656,072	715,660	71,057	1,442,791	65,634	1,508,425	(503,957)	1,004,467

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種ワサビ類他香辛料、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額503,957千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(売上計上方法の変更)

連結子会社であるマルミフーズ株式会社における水産物の問屋買付に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価ともに計上する方法（総額表示）によっておりましたが、第1四半期連結累計期間より売上高から売上原価を控除する方法（純額表示）に変更しております。

この変更は当該取引の金額的重要性が増したため、営業成績をよりの確に表示するために行ったものです。当該会計方針の変更については遡及適用を行い、この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の水産物の売上高は1,336,315千円減少しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。